

千葉県人口ビジョン（骨子案）

千葉県総合戦略（2015～2019年度の5か年）（骨子案）

I 千葉県の人口の状況分析

(1) 千葉県の状況

- ◆千葉県の総人口は、今後30年で約84万人、13.5%減少。生産年齢人口は29.1%減少。

(2) 各地域の状況

- ◆直近5年の人口動態を基にすると「自然増かつ社会増となっている地域」、「自然減だが社会増となっている地域」、「自然減かつ社会減となっている地域」に分類することができる。

(3) 出生・死亡、転入・転出の推移

- ◆合計特殊出生率は、2013年は1.33。
- ◆出生数は、2013年は48,343人で、ピーク時の約6割。

(4) 高齢化の状況

- ◆高齢化率は、2040年には36.5%まで上昇。2.7人に一人が高齢者。

II 人口の将来展望

(1) 将来展望に必要な調査・分析

若者の結婚・出産等の希望や地元就職等に関する希望などを実現する観点重視することが重要であることから、人口ビジョンの策定にあたって必要と考えられる調査・分析を行う。

(2) 目指すべき将来の方向

◎「くらし満足度日本一」の千葉

「千葉で生まれてよかった」「住んでよかった」「働けてよかった」と誇れる「くらし満足度日本一」を実現し、あらゆる世代が笑顔で住み続けられる千葉を目指す。

この実現のため、以下の【3つの基本方向】を設定する。

国内外の人々が集う千葉の実現～人口の社会増～

人々に居住地として選ばれるには、通勤可能な範囲内において魅力ある雇用の場があることが重要であるため、本県の優れた資源をフルに活用し、雇用の場の拡大や、都心へのアクセス強化等を図ることにより、地域に住み働ける県づくりを進める。

親子の笑顔が溢れる千葉の実現～少子化への挑戦～

優れた都市機能と、豊かな自然を併せ持ち、子育てに係る多様な価値観に対応できる環境を有するという本県の優位性を活かし、「子どもを生み育てるなら“千葉”」と選ばれる県を目指し、若い世代が安心して結婚、出産、子育てのできる環境づくりを進める。

オール千葉で支えあう安全・安心に暮らせる千葉の実現～人口減少社会に対応した県づくり～

人口減少社会においても、様々な世代の人や県、市町村、民間企業、団体等が連携協力して、県民が安全かつ安心に暮らすことができる県づくりを進める。

(3) 千葉県の将来人口

【展望イメージ】

- ・出生率：2020年に○、2030年に○、2040年に○が達成されるケースを想定。
- ・総人口：2040年に○万人程度を維持。

総合戦略 I：東京オリンピック・パラリンピックを契機とした「世界中から人々がやってくるCHIBA」づくり

2020年東京オリンピック・パラリンピックは、本県の発展に繋がる「宝」を磨き、発信することにより「世界中から人々がやってくるCHIBA」を作り上げるチャンスである。この実現に向けた取組は、新しい人の流れを創出し地域経済の活性化を図るとともに、多様な主体が連携し安全で安心して快適に過ごせる環境を整備し、子どもたちが誇れる千葉を「オール千葉体制」で作り上げるものであり、まさに、地方創生の核となるものであることから、「東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県戦略」を本戦略に位置付け、地方創生の実現を目指す。

◆キャンプ・国際大会・MICEの誘致

◆成田空港の利便性向上、交通ネットワーク・アクセスの強化

◆バリアフリー化の促進

◆魅力ある観光地づくり

◆外国人受入体制の整備

◆国際交流の促進

◆戦略的な千葉の魅力発信

総合戦略 II：地方創生の実現に向けた千葉づくり

千葉における地方創生を確実に実現するには、それぞれの地域において、その特性を生かした取組を進めることが必要であり、住民の生活に密着した市町村の果たす役割が重要である。このため、以下の【4つの基本目標】を設定し、市町村と目標を共有し、市町村が取り組む、地域の課題を踏まえた意欲と創意工夫による地域づくりを広域的な立場から支えるための施策を展開する。

(1) “働きたい”がかなう千葉づくり

産業の振興や新たな雇用の場を創出することで、人々は住み続け、多くの人が転入することにより地域経済は活性化するという更なる好循環を生み出すこととなる。

このため、本県の地理的優位性（東京への近接性、豊かな自然環境等）、優れた社会基盤（成田空港、アクアライン、圏央道、千葉港等）、バランスのとれた産業（全国上位に位置する農業、水産業、工業、商業）をそれぞれの地域で生かすことで、若者にとって魅力ある雇用の場を創出するとともに、将来的には、県内各地域において通勤1時間圏内に雇用の場が確保されるよう取り組む。

- 地域の特性に応じた戦略的な企業誘致の推進
- 力強い農林水産業の確立
- 未来を支える新産業等の振興
- 京葉臨海コンビナートの競争力強化
- 中小企業の活性化支援
- 地域の創意工夫による経済活性化の取組の促進
- 主要都市間の交通アクセス整備

(2) “人々が集う”魅力あふれる千葉づくり

日本人のみならず外国人にも楽しく、過ごしやすく、住みやすい環境づくりを進めるとともに、「魅力の宝庫 ちば」を国内外に積極的にPRし、移住・定住の促進、交流人口の増加を図る。

- 国際社会の中で発展するCHIBAづくり
- 居住地として選ばれる千葉づくり
- 国内外の誰もが訪れたい観光地づくり
- 大学等との連携による地域への若者の定着促進
- 千葉の様々な魅力の国内外への発信

(3) “結婚・出産・子育ての希望”がかなう千葉づくり

若い世代の結婚・子育ての希望を実現させるとともに、子どもたちが心身ともに健やかに生まれ育つよう、妊娠・出産から子どもの自立までを総合的に支援することにより、少子化の流れに歯止めをかけ、次代の千葉を担う子どもたちの成長を支える。

- 若い世代の経済基盤の確保と子育てに係る経済的負担の軽減
- 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- 働きながら生み育てやすい環境づくり
- 千葉に愛着を持ち、地域や世界で活躍できる子どもの育成

(4) “安全・安心な暮らし”がかなう千葉づくり

人口減少・少子高齢社会においても人々が元気に安全で安心して暮らし続けることができるよう、地域内外の多様な主体が地域を支える仕組みを整えるとともに、時代に対応したまちづくりを進める。

- ◆生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域づくり
- ◆地域コミュニティの再生と担い手づくり
- ◆快適で暮らしやすいまちづくり
- ◆安全に暮らせる地域づくり
- ◆地域連携の強化

総合戦略を支える【4つの基本的視点】

(1) 中長期的かつ総合的な取組

一過性の対症療法的なものではない、中長期的かつ総合的な取組を進める。

(2) 千葉を愛し、時代を担うひとを育む取組

千葉に愛着を持ち、相互に支え合う「ひとづくり」の取組を進める。

(3) 本県の特性や強みを生かした取組

本県の特色や地域資源といった「千葉の宝を徹底的に生かした」取組を進める。

(4) 地域間の連携した取組

防災、医療・福祉をはじめ、県内の地域間連携や近隣都県との連携促進を図る。